



先進加工

# 3Dプリンタ向けポリプロピレン

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

軽量化

用途

材料押出方式（MEX）3Dプリンタ／家具／構造物

課題

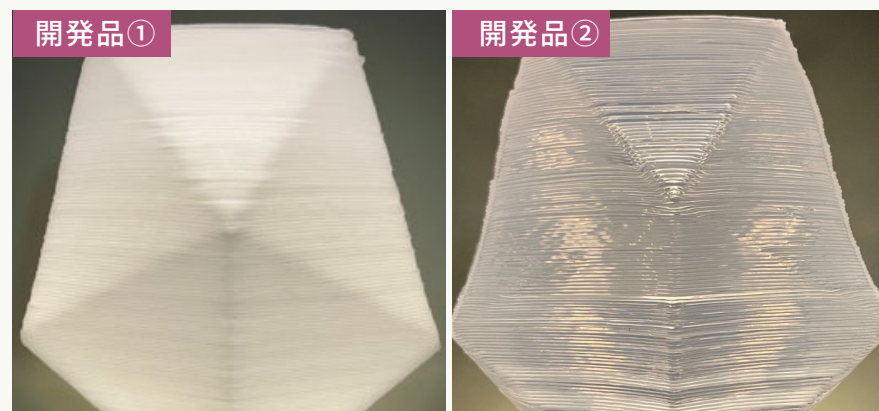
- 従来のポリプロピレンは反りやすく、安定した造形が困難。
- 低反り性、層間接着性、材料剛性、透明性の不足により、実用特性を満足しない。
- 造形速度を上げると造形物の外観が損なわれる。

## ソリューション

- 開発品①：高い造形速度に対応し、生産性を向上



- 開発品②：意匠性、発色性を考慮し、透明性の高い材料を開発中



- MEX05( 開発完了グレード )：低比重と高剛性を両立

| 項目          | 汎用 PP | MEX05 |
|-------------|-------|-------|
| 比重          | 0.9   | 1.0   |
| 曲げ弾性率 (MPa) | 1,500 | 9,500 |

## ベネフィット

- ポリプロピレンならではの低比重を活かした軽量の造形品を実現
  - + 造形時間を短縮して生産性向上とトータルコスト低減
  - + 高剛性が求められる用途（構造物等）への適用
  - + 透明性・発色性に優れた高意匠な造形物を実現

お問い合わせ



日本ポリプロ株式会社

**免責事項** 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。